



西海市

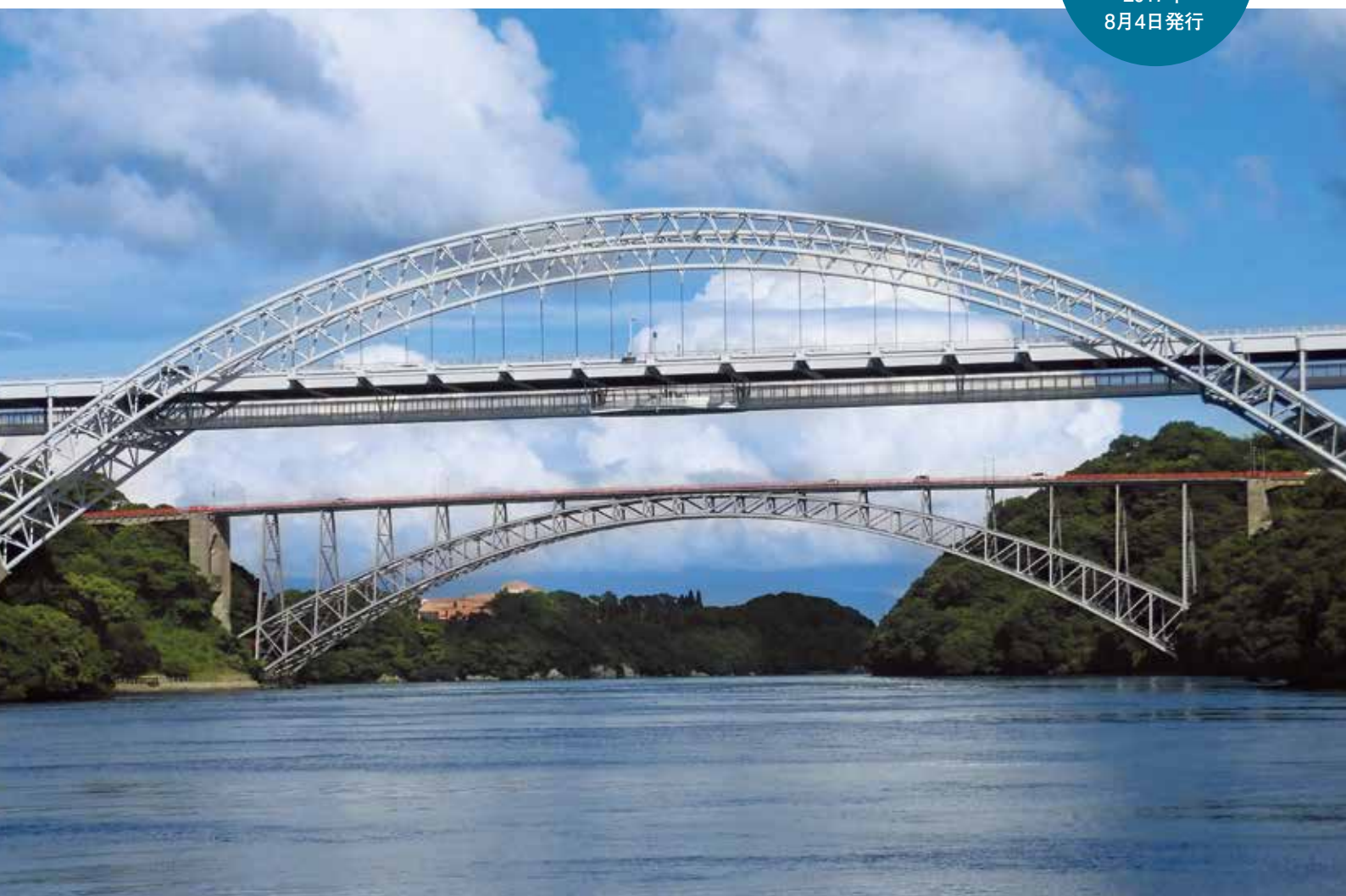
議会

だより

The SAIKAI
Municipal
Assembly
News

No. 47

2017年
8月4日発行



お も な 内 容

平成29年第2回西海市定例会	…… P2～P4
一般質問	…… P5～P10
NBCデータ放送の紹介	…… P11
市議会ホームページの紹介	…… P12
市民の声	…… P13
議会クイズ、編集後記	…… P14

西彼町伊ノ浦郷から望む新西海橋と西海橋

平成29年第2回定例会

会期 平成29年6月9日～6月23日【15日間】

第2回定例会で審議された議案は次の通りです。

市長提出議案等…………… 31件

(報告2件、同意案19件含む)

本会議の審議においては、総括質疑が6件あり、活発な議論が交わされました。

また、各常任委員会には10議案が付託されており、各委員会において担当部局より説明を受け、慎重に審査が行われました。(各常任委員会の審査概要は次ページの通りです。)

各常任委員会の付託案件件数
 予算決算常任委員会…………… 1件
 総務文教常任委員会…………… 4件
 産業建設常任委員会…………… 3件
 厚生常任委員会…………… 2件

補正予算案を修正可決

今定例会において提出された平成29年度西海市一般会計補正予算(第1号)は、予算決算常任委員会に付託され、委員会における慎重な審査の結果、修正すべきと決定されました。これを受け、本会議において歳入歳出それぞれに7億8,243万9,000円を加え、総額195億6,814万2,000円とする補正予算案を修正可決しました。

本定例会に提出された各議案の審議結果は下記表の通りです。

平成29年第2回議会定例会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	議決結果
報告第12号	平成28年度西海市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済み
報告第13号	平成28年度西海市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済み
同意第12号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第13号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第14号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第15号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第16号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第17号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第18号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第19号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第20号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第21号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第22号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第23号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第24号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第25号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第26号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第27号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第28号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第29号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
同意第30号	西海市農業委員会委員の任命同意について	同意
議案第38号	西海市中小企業振興条例の制定について	原案可決
議案第39号	河内岳辺地総合整備計画の策定について	原案可決
議案第40号	西海市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第41号	西海市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第42号	西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第43号	平成29年度西海市一般会計補正予算(第1号)	修正可決
議案第44号	平成29年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第45号	平成29年度西海市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第46号	西海市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第47号	西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

全国市議会議長会表彰状伝達式

平成29年5月24日に開催された第93回全国市議会議長会定期総会において、市議会正副議長職に8年以上あったものとして特別賞を1名が、また、議員在職年数が15年以上、同、10年以上表彰を各1名ずつが受賞し、6月9日の本会議終了後、表彰状伝達式が行われました。受賞した議員は次の通りです。

議員10年以上 小嶋 俊樹 議員
 正副議長8年以上 佐嘉田 敏雄 議員
 議員15年以上 岩本 利雄 議員
 (写真・前列右から)



常任委員会審査報告

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会には1件の議案が付託されました。議案とその審査結果及び概要は次の通りです。

議案第43号平成29年度西海市一般会計補正予算(第1号) 修正可決

平成29年度西海市一般会計補正予算(第1号)は、7億8,820万9,000円を追加し、歳入歳出それぞれ195億7,391万2,000円とする補正予算案でしたが、款2総務費内に計上されている「旧長崎オランダ村施設デッキ改修事業」事業費について、管理運営会社と交わした旧長崎オランダ村施設の土地及び建物に関する使用協定書にうたわれた公有水面の付帯構造物に係る修繕負担区分に照らし市が負担することは不適当であり、当該施設の安全確保は管理運営会社の負担とすべきではないかなど、公費負担を疑問視する意見が数多く出されました。

その後、施設の安全面確保の重要性は十分理解できるとしたものの、そもそも当該施設開業に伴う改修工事費用等に係る予算審査の際、今後の費用負担を行わない旨の説明を前市長より受けており、予算案の議決においても付

常任委員会審査報告

帯決議を行った経緯があること、また、当該施設の今後の運営状況に不透明な点があり、慎重な予算執行が必要であるとの趣旨で、当該事業に係り計上された歳出及びそれに伴う歳入額577万円を予算案より削除する修正案が提出され、全会一致で修正すべきものと決定しました。



改修が必要とされたポートホール長崎の海上デッキの一部

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、条例案2件、計画策定1件、補正予算1件の計4件の議案を審査しました。主な議案の審査概要は、次のとおりです。

議案第38号西海市中小企業振興条例の制定について 原案可決

西海市内において新規に従業員を雇いかつ一定金額以上の投資を行った企業等への奨励金の交付や、経営改善・

販路拡大を実施する企業への補助金の交付など、市内の中小企業の振興を図ることを目的としています。

質疑 交付を受けようとする企業の審査方法や、多数の交付申請があった場合の予算措置について。

答弁 審査方法については、専門家を交えて提出された書類の精査を行いたい。また、多数の交付申請があった場合においても基本的には予算を理由とした制限は行わない。

議案第39号河内岳辺地総合整備計画の策定について 原案可決

自然的諸条件に恵まれない山間地域等において生活環境等の総合整備のための計画を策定することを目的としています。この計画の主な事業は、西彼町大串郷の市道河内岳(コウジダケ)3号線の整備事業となっています。

質疑 市道整備計画の優先順位について。

答弁 地区要望があり現場を確認してから順位を付けている。予算が限られているので、この事業にも充てられている辺地対策事業債のような市に有利な市債を活用できる事業も優先している。

議案第40号西海市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

議案第44号平成29年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号) 原案可決



市道河内岳3号線

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、条例案2件、補正予算1件の計3件の審査を行いました。

議案第41号西海市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

空き家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、平成27年5月に施行されたことから、この法律に則した条例とする必要があり、国の法律と整合させるため、改正を行うものです。

質疑 法に空き家等対策計画の作成や対策の実施、または措置を講じるよう努めることが規定されているが、本市の状況は。

答弁 空き家を出さない、危険な空き家としないことを基本的な考えとして、空き家の活用も含めた形で計画を作成していきたい。

議案第42号西海市市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

現在、建設中の大瀬戸町焼島単独住宅の項目を追加し、円滑な入居者募集につなげるため改正を行うものです。

質疑 現在、車の所有は1人に1台の時代だが、今回は、どのように整備したのか。

答弁 敷地面積の関係から1戸1台の整備となっている。近くの市営駐車場を利用して頂きたい。

質疑 今年は大瀬戸地区を中心に建設や改修を行っているようだが。

答弁 本市が策定した総合計画と公営住宅等長寿命化計画に基づいて整備を行っている。次は大島地区を予定している。



建設中の焼島単独住宅

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、条例案2件の審査を行いました。

議案第46号西海市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

議案第47号西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

2議案ともに平成30年より実施が予定されている、コンビニエンスストアにおける証明書交付サービスにかかり、関連する条例に所要の改正を行うものでした。

まず、議案第46号はコンビニエンスストアの多機能端末機で印鑑証明の交付を受けることができるよう、条例を改正するもので、続いて議案第47号は、証明書のコンビニ交付手数料について、サービス開始から平成32年3月31日までの期間、窓口における交付手数料より50円減額する旨の改正を行うものでした。

審査は、証明書のコンビニ交付サービス利用は、マイナンバーカードの取得が必要であるため、サービスの概要の他、マイナンバーカードの交付に関する質疑が多く出されました。審査における主な質疑と答弁は次の通りです。

質疑 マイナンバーカード申請時は通知カードと写真も持参しなければ

ならないのか。

答弁 コンビニ交付サービスを多くの方が利用できるよう、カード申請について丁寧な説明を行うとともに、申請の際の写真撮影を窓口で行う事が出来るようデジタルカメラの設置を検討している。

質疑 個人情報保護に向けた取り組みはどのようになっているか。

答弁 個人情報保護の為、情報のやり取りは専用回線を使って行われるようになっている。また、カードの紛失や盗難に伴うリスクと暗証番号の管理等の対策について市民への周知を図る。

質疑 コンビニ交付によるメリット、デメリットは。

答弁 年末年始を除き、市役所閉庁時や早朝6時から深夜23時まで交付が受けられる事が最大のメリットである。デメリットとしては、初期のシステム構築に要する経費及び運営費が必要であることである。

質疑 コンビニ交付手数料の減額措置について、本市が窓口交付より50円減額とした根拠は何か。

答弁 6月1日現在、九州内の47自治体がコンビニ交付を実施しており、うち3自治体が100円減額、11自治体が50円減額となっており、この状況を参考に決定した。



一般質問



おとし 岩本 議員
いわた 利雄

松島架橋早期建設への「メド」をつかむ

問 松島架橋は島民の悲願である。市はこれまで松島架橋早期建設期成会を設立し、県や国への要望活動をはじめ、市民一体となった機運の盛り上げを図るための総決起集会の開催、市内小学生を対象としたポスターコンクールの実施、啓発用看板の設置、のぼり旗やリーフレット等を作成し、周知啓発活動に取組んできている。

市長 市長は重点施策の一つに、「島の暮らし支援」を挙げて、専門部署の設置を検討されており、松島架橋がこれまで以上に進展するものと大きな期待を寄せている。市長は所信表明の中でも、松島架橋に対して何とかメドをつけたいと述べている。メドをつけるとは、具体的に何を指しているのか。

市長 松島架橋は島民の悲願であるということ、十分認識している。旧町時代から国、県への要望活動や市民への啓発活動を実施しているが、

いまだにメドは立っていない。建設計画のテーブルに乗っていない。

まず建設計画に載せられるように、せめて何年度までには架橋の計画に入ると、そこまではメドをつけたい。

問 これまでの活動は、国県に対する陳情が主で、すべてがお願いベースで他力本願である。相手の意向に左右され、いつ実現するのか全く分からない。自助努力も必要である。松島架橋建設基金を創設し、定期的に積み立ててはどうか。

市長 自助努力という形の中で、松島架橋に対する市民の一体感を醸成したい。建設費用が130億円だということだが、基金の創設という提案は前向きに考えたい。額としてどれだけ積立てられるかは分からないが、意気込みを示す点では有効であり、前向きに検討したい。



コミュニティバスの運行を



こえい 瀬 議員
ふちせ 栄子

問 コミュニティバスや乗り合いタクシーなどの新たな公共交通システムの導入が具体化されないが、解決するための取り組みは。

市長 6月補正予算で調査費等を計上し、まずは、瀬川汽船の川内、佐世保航路の改善計画に伴う横瀬地区周辺を重点地区と定め、陸上交通の現状を把握するための調査・分析、実証運行を行い、利用者の意見を反映した上で交通形態の改善を図っていく。これをモデルケースとして必要な地域へ広げていきたい。

問 松島地区のコミュニティバスの西泊集落への乗り入れは予定通りか。

市長 本年秋に改正の予定である。

問 長崎市が本市にあるバス事業者に委託して実施しているコミュニティバスの運行方法を本市にも適用できないか。

市長 運転手不足により、受け入れ態勢が整わない中ででの運行受託は厳しいものとなっている。

就学援助制度について

問 事務処理の見直しで、支給時期が改善されているか。

教育長 申請書を通学する学校ごとと世帯一枚にまとめ、他の制度で確認できる場合は民生委員の意見書は不要とし早期の支給に改善できている。

問 入学準備金の入学前支給と単価の増額はされているか。

教育長 小学校入学予定の幼児にも入学前に支給できるように準備している。国の基準にあわせた西海市就学援助規則の改正を行い、改正後の単価で新入学児童生徒用品費を6月中旬に支給するように事務を進めている。



長崎市がバス事業者に委託して運行しているコミュニティバス

その他の質問…
自衛隊や米軍の訓練について
国民健康保険の運営について



一般質問



たがわまさき 議員 田川 正毅

ふれあいプールを温水化に

問 市民の健康増進のため、年間を通じて利用できるように、「ふれあいプール」の温水化を提言する。

市長 水中運動の効果は運動不足解消・心肺機能向上などリハビリ効果も期待できる。安全面でも高齢の方の健康管理に適している。プールの利用状況を確認し今後の課題としたい。

離島の夜間医療体制の充実を！

問 松島・平島・江島における夜間救急搬送の体制の強化と周知を図るべき。

市長 地元の漁船などで医師・看護師が付き添い本土の医療機関・救急車両で搬送している。漁船の費用は移送費として医療保険が適用され、患者に給付される。また漁船等の利用には周知をしっかりと進めたい。

火災・風水害の罹災者に気配りを！

問 近年の火災・風水害の状況は。

市長 建物火災は平成25年10件・26年4件・27年9件・28年5件・29年は現時点で4件である。

問 罹災者に対して、行政が積極的に出向いて具体的な対応をすべきではないか。

市長 罹災者に対する気配りの問題であり、私だけでなく職員全体が「自分が当事者」の意識を持って注意してやっていきたい。

ごみ処理とごみ分別の実態について

問 西海市のごみ処理の実態は

市長 可燃ごみ・不燃ごみ・資源物・有害ごみ・粗大ごみ・その他のごみの6種類。資源物を缶・瓶・ペットボトル等に区分し全部で17種類に分別している。引き続き分別・処理方法の周知徹底を図りたい。

資源ごみを「炭化センター」において、助燃油としている実態があるか。

市長 ゴミ質により変化する要炭化熱量を確保するため、灯油を助燃油として使用しているが、プラスチック類等の資源ごみを助燃油の代替として使用している実態はない。

コミュニティバスの運行を穴

問 買い物難民・医療難民の方々が増えている。買い物・病院に行きたくても行けない方々のために一刻も早くコミュニティバスの運行を望むが、いかがか。

市長 今回の補正予算の中で新たな公共交通の構築に向けた調査費を計上している。ま

ず、横瀬地区周辺を重点地区とし調査・分析を行い必要な地域へ広げたい。



うちの内野 議員 内野 繁樹

緊急を要する救命処置について

問 現在、西海市の医療機関において対応できる機関はあるのか。

市長 現在、市内の医療機関は病院2か所、診療所24か所の一次救急医療機関となっている。

ないとすれば、市長は今後の対応をどのように考えるのか伺う。

市長 市内には専門医療機関がなく、救急患者は近隣の総合病院等に搬送されている。今後も近隣の医療機関との連携体制強化が必要であり、今後予想される二次輪番病院問題などの解決に向け、県や関係自治体との連携のもと取り組んで行く。

江島地区及び平島地区の医療体制はどのようになっているのかを伺う。

市長 現在、それぞれに国民健康保険直営診療所を開設し、常勤医師と看護師各1名で診療を行っている。島民の安全・安心な暮らしを守るため、老朽化した施設の整備、医療機器の更新に今後取り組む。

市立の医療機関の設置について

問 平成28年第4回定例会一般質問において、公的な病院経営は厳しく、困難と前市長が結論づけている。どの程度厳しく困難なのか数字で示していただきたい。また、市民病院の設置が望めないのかを伺う。

市長 旧市立病院への一般会計繰出金は、5年間の累積赤字補填分として13億5,000万円であり、市民の皆様も市立での病院経営継続は困難と認識されたと思っている。少子高齢化、人口減少が進む中、新たな市立病院の設置は厳しく、困難であると考える。このような中、市内個人病院の先生方の高齢化が進んでおり、10年後、15年後に医療の空白地帯が出てくる懸念がある。病院の建設は難しいと思うが、医療を確保できる公立診療所建設の必要性が出てくるのではと危惧している。10年後15年後を視野に入れた本市の医療体制を考える時期にきていると考える。





一 般 質 問



こじま とき 議員
小嶋 俊樹

固定資産（固定資産税）について

問 地方自治体が賦課する基本となる土地家屋の現況は、人口減少や都市部への人口流出など様々な課題が提起されている。遊休農地と荒廃農地の状況はどの程度把握しているか。

市長 作物の栽培が不可能となっている農地2、783ヘクタールのうち、再生可能なA分類が936ヘクタール、残りが再生困難なB分類である。

なお、再生困難な荒廃地については、守るべき農地の明確化と農地の適正な管理を行い、支障が無い範囲で非農地処理の手続きを進める。

問 農地の貸借は、中間管理機構を通してどの程度進んでいるか。

産業振興部長 平成26年度13・2ヘクタール、平成27年度24・1ヘクタール、平成28年度13・4ヘクタールとなっている。

問 過去5年間の中で空き家の数や所有者不在となった土地や建物の数量はどれくらいか。

市長 平成29年度の当初課税における土地は14万3、876件、家屋は2万2、488件。しかし、課税の段階で空き家の判断は出来ないため、現在把握しているものは、特別措置法による特定空家に認定した95件のほか、平成27年度に定住促進環境整備業務において、各行政区長を通じて調査した324件である。

問 近年、相続放棄や固定資産税が徴収不能となった件数が存在するか。

市長 税の徴収不能に関し、相続人全員から相続放棄の申し出があったものが、土地家屋合わせて18件であり、それ以外に、公示送達したものが平成28年度20件となっている。

問 固定資産を自治体、公共団体への寄附行為または個人、法人への無償譲渡したものがあるか。

市長 山林12筆、畑3筆、宅地5筆、道路4筆、家屋等8件である。



市役所本庁舎



ともなが たかひろ 議員
朝長 隆洋

問 行政機構及び組織、さらには総合支所のあり方を踏まえた政策の進め方は。

市長 毎年度、各部署に調査及びヒアリングを実施し、効率的な行政運営が行えるよう組織機構を図っているが、市民目線に立った行政運営を進めていくために、市民の皆様からのご意見を反映させた行政組織の編成が必要であると考える。

また、政策課題に上げている「未来につながる農林水産業・商業観光」の実現のため、特産品の開発、販売に関する専門部署や「しまの暮らし支援」として国境離島新法や松島架橋などの離島振興に対応した専門部署等の設置を検討する。

総合支所のあり方については、面積が広く、一部地域を除いて、集落が点在する本市各地域の問題に対応できる行政システムの構築が必要であると考えており、行政機能の集中を最小限に抑えながら、市民のニーズに柔軟に対応できる人員配置を初め、予算等、一定の権限を持つ総合

支所へ機能強化を進める。

問 新教育長として西海市の教育方針と、特に力点を置いた教育施策は。

教育長 学校教育の分野では、積極的に学ぼうという姿勢を持った子どもたちを育てるために、「わかる授業」、「魅力ある授業」、「達成感のある授業」が行われるよう授業改善に取り組む。

教職員が働きやすい同僚性のある職場づくりを通して教職員の資質向上に力を注いで参る。

いじめ・不登校など児童・生徒の問題行動解決に向けて、子ども等の悩み等を解消し心の安定を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した教育相談体制の充実に資する施策を行うっていく。

幼稚園保育料の低廉化、給食費助成制度の創出等に取り組んで参りたい。





一般質問



議員 戸浦 善彦

問 「すぎざわ泰彦のまちづくり」の政策課題の中で、旧オランダ村の見直しとあるが、手付かずのCゾーン含む今後の方針を伺う。

市長 市民生活への関わりを最優先基準とし、解決のため検証を行い論議をオープンにして見直し方針を導きたい。

問 「変革・新たな西海市の始動」と掲げた政策課題の中で、教育政策の重点化の具体策と、小学校社会体育と中学校部活動のあり方について伺う。

教育長 第1期西海市教育基本計画の成果と課題を検証の上策定した第2期同計画にのっとり、変革という言葉に思いを乗せ、新たに加えたり、特に力を入れたりする施策内容を重点とした教育行政を推進したい。また、教育政策重点化のため、総予算の10%以上を教育予算として定率確保する変革も含め課題解決に取り組んでいく。

全ての児童・生徒の要望に応じた社会体育及び部活動の設置は困難な面もあるが、一人でも多くの児童・

生徒の夢や憧れがかなえられるよう、よりよい解決策を模索していきたい。

問 「すぎざわのお約束」の中で「暮らしの安全・安心のまちづくり」について、市民の生命を守る大雨防災対策(ハード事業を含む)など市の取り組みを伺う。

市長 気象台の注意報及び警報を基に県危機管理課と連携し、防災行政無線などによりタイミングを逃さず避難情報の周知を図る。ハード事業は、県が公表した土砂災害危険箇所のうち、今年度事業として急傾斜地崩壊対策事業を県と市の事業で各3か所ずつ、地すべり対策を県事業で2か所、砂防事業を県事業で1か所行う事としており、今後も土砂災害危険箇所整備促進を図る。



路肩が深くえぐられガードレール支柱が宙ぶらりんの箇所。下は住宅地がある。市道伊ノ浦線(西彼町)

その他の質問・観光政策について
高速通信網の整備について
コミュニティバスの整備について
市民の考えや提案を取り入れた地域づくりについて



議員 中尾 清敏

農業政策について

問 西海市の持続可能な農業を見据え課題解決に向けた対策を伺う。

市長 本市の基幹産業の一つである農業の後継者不足の課題が山積している。

その理由として、販売価格が不安定な面や機械化や労力が無ければ規模拡大が困難である事や有害鳥獣被害などによる経営意欲の低下などにより農業離れが進んでいると思われる。

市としては、大型基盤整備の推進と補助事業の推進と補助事業の対象とならない小規模な農地の狭地直しによる整備により、将来的な農地流動化が可能になるような体制の構築と、耕作放棄地解消や農業経営に必要となる施設や設備に係る、国県市の補助事業の積極的な活用を図る。

また、新規特産品の開発、導入も取り組み、意欲ある農業者の先進地視察研修への支援を行い、後継者の育成を図り、儲かる農業の実現に向けて基幹産業としての農業の発展に努めていく。

問 地域に密着して住民の健康増進活動や町づくりを支援する「コミュニティナース」として看護師資格を持つ方を地域おこし協力隊として受け入れる考えはないか。

市長 直面する超高齢化社会に対応していく為、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みも進めている。連携も含め、「コミュニティナース」の活用は大変参考になる提案である、健康的なまちづくりのため手段として研究する。

問 昨年6月定例会において、七釜鍾乳洞周辺の整備とランドゼインの作成について一般質問したが、当時の前市長は関連する一帯の土地を確保し、早急にまとめあげると答弁していた。市長のお考えを伺う。

市長 七釜鍾乳洞や化石の森を中心に自然のまま保全し、訪れる人の流れの拡大を図るため地権者、法廷相続人等を調査中である。私自身、鍾乳洞を中心とした化石群等には非常に興味がある。前市長の答弁に沿って進めるべきと考える。





一 般 質 問

工事名	決算額
建築改修工事 第1工区 (現在の免税店、屋根、外部建具等)	7,276万680円
建築改修工事 第2工区 (店舗棟の防水、劣化部地下補修等)	6,895万2,600円
浄化槽改修工事	1億3,408万5,240円
電気改修	6,936万4,080円
エレベーター改修	1,998万円
スロープ等改修	2,403万3,240円
建設管理費及び事務経費	433万3,200円
鋼管杭耐久性調査費等	2,177万5,922円
2か年の総合計	4億1,528万4,962円

▶ポートホールン長崎について
問 平成28年4月16日の開業に至るまで、西海市が旧長崎オランダ村に投じた整備費用と工事内容は。
市長 2か年の総合計で4億1,528万4,962円となっている。



ひらいみつひろ 平井 満洋 議員



ポートホールン

問 管理運営会社をホールンドビレッジ(株)に決定した経緯と内容は。
市長 平成26年3月26日に管理運営会社の公募を開始し、4月15日までに県内2社、県外1社の3社より応募があり、12名の審査委員から成る利活用計画審査会を平成26年6月から9月までに4回開催し、平成26年9月11日に、市内の地域資源を活かした食の販売や情報発信に伴う地元貢献度が評価され、ホールンドビレッジ(株)が決定した。
問 あつという間に経営破綻に近い状態になっているという事は、審査した委員の方にも責任があると考えますが、10年間無償契約という内容も含め、いつまでつきあうのか。
市長 何とかしなくてはと思う。このままの形でいいのかという事に関しましては、私は否と答える。

問 農地基盤整備事業の進捗状況について伺う。
市長 丸田地区での基盤整備は、29鈔の畑地の整地が昨年度までに完了し、本年度の付帯工事をもって事業完了となる。
 白崎地区は、樹園地を主体に16.5鈔の区画整理を予定し、協議調整を行っており、本年度、排水施設の設備工事が着工される予定。
 小迎地区は事業採択目標を平成30年度として、樹園地を主体に15鈔の区画整理を計画しており、今後、所要の手続きを行った上、本年11月に国へ事業採択申請する予定である。
 面高地区は、事業採択目標を平成31年度とし、畑地を主体とした計画農地を90鈔と設定し、現在、計画区域内の土地所有者に対する意向調査を実施しており、未回答者への確認作業をはじめ、圃場や導水路の整備方法などの協議に入っていく予定である。
 下岳地区においては、畑地区主体の43鈔を計画しており、土地所有者への意向確認を行ったところである。また、



みやもとかずあき 宮本 一昭 議員

地元からの事業推進の声もあり太田和地区においても事業について説明会を開催したところである。
問 農業従事者の規模拡大や新規事業に国・県の補助金を活用する際のポイント制度について伺う。
市長 事業成果目標の達成及び重要施策の取り組みに向け、補助事業の重点化、効率化を図り、より高い事業効果の発現が見込まれる事業についてポイント配分基準による順位づけなどを行い、予算配分するものである。ポイント付与項目は本市の営農条件では達成が難しいものが多く、土地条件に恵まれた大規模経営体の多い地域に対し不利な状況となっている。
問 光ファイバー高速通信網の整備について伺う。
市長 多額の費用を要するが、優先度は非常に高く、計画的に確実に進める事が必要と考えている。具体的には、本年度から全市内全域を網羅するアウトラインを描き、スピード感を持って取り組んでいく。



圃場整備された農地 (丸田地区)



一 般 質 問



すぎやま せいじ 議員
杉山 誠治

地域審議会について

問 地域審議会は、各地域が平均的に発展していく為の重要な組織と考えるが、今後、復活又はそれに代わる発展させた組織を設立する考えはないか伺う。

市長 復活は考えていないが、市政運営上、必要に応じ、条例の定めるところによる付属機関としての審議会等を設置し、諮問または調査を行う事はあると思う。しかし、まずは議員や行政区長の皆様からの意見さらには、できるだけ多くの市民の皆様への考えや提案をお聞きする機会を設けながら市民が主役の地域作りを進めていく。

総合支所機能の充実について

問 総合支所の人員配置、決裁できる予算や権限など、その機能を充実させることができないか伺う。

市長 支所の機能を上げる改革は必要不可欠である。面積が広く、一部地域を除いて集落が点在する西海市においては、行政機能の集中は最

小限に抑えなければならぬ。そして、それぞれの地域の問題に対応できる行政システムの構築が必要であると考える。市民のニーズに柔軟に対応できるように、人員配置をはじめ、予算など、一定の権限を持つ総合支所へ機能強化を進めていく。

「胃がんリスク検診」の普及について

問 ピロリ菌の検査を胃がんの予防対策として、本市が実施する検診項目に取り入れる事は出来ないのか、市長の考えを伺う。

市長 平成30年度から胃内視鏡検査にピロリ菌項目を追加することで検査方法及び予算化を検討している。

問 取り入れるとした場合、現在主流であるABC法で行っていたきたいが、いかがか。



市長 検査するからには、その効果、予防値がしっかりとでてくるような形の方法をとっていくのが導入に際しての必要条件だと思っっているため、研究させて頂きたい。

市長の施政方針について



しみず まさあき 議員
清水 正明

問 西海市の課題は、他の自治体同様に人口減少と考えられるが、市長は、選挙公約の一つに「若者が住みやすいまちづくり」を掲げていた。今後、若者を西海市に定着させ、人口減少を食い止めるための方針を伺う。また、ポートホール長崎の「今後のあるべき姿」を伺いたい。

市長 人口減少を食い止める方策は、教育、福祉、産業などあらゆる面からの施策を複合的に展開し、戦略的に実行する必要がある。ポートホール長崎のあるべき姿については、市民への関わりを優先基準として、市民、議会の皆さんと協議を進めていきたい。

教育行政について

問 近年、教職員の長時間労働が問題視されている。西海市における超過勤務の現状を伺いたい。また、県教育委員会の会議の中に、「具体的な取組み」とあるが、それに対する教育長の見解を伺いたい。

教育長 本市における1か月あたりの超過勤務の平均時間は、小学校で約35時間、中学校で、約59時間となっている。今後、週1回の定時退校日を徹底させ、ノー部活動デーを週1回から、週2回以上に推進するなど、計画的、効率的な職務に向けた支援を講じていきたい。

環境行政について

問 本市は、環境実践モデル都市に選定され、再生可能エネルギー活用計画が策定されているが、その計画への達成状況を伺いたい。また、汚水処理施設への未接続者への対応を伺いたい。

市長 再生可能エネルギー活用計画について、公共施設への太陽光発電を市内公共施設12箇所を設置しており、遊湯館の木質チップボイラーも順調に稼働している。汚水処理施設への接続については、説明会や封書でお願いするなど、普及に努めている。



農村環境改善センターの太陽光発電施設

西海市の情報をテレビ画面上で確認できるようになりました！



地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの@ボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見ることが出来ます。テレビの地デジ化が完了し、長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。(実施している他自治体の情報も閲覧可能) 配信時のアクセス

集中による通信障害の心配もありません。6項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、**議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。**
ぜひ活用ください。



①チャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンのdボタンを押す

②「自治体情報」を選択し、リモコンの緑のボタン「地域選択」を押した後「西海市」を選択

③6項目から1項目選択

④確認したい内容を選択すると右側に詳細が表示される

西海市のホームページから市議会の日程などがご覧いただけます。

西海市のホームページを開いて、最初の画面の「市議会」のバナーを選択する。



市議会のページに移動するため、「会議の案内(市議会)」を選択する。



見たい会議を選択する。



選択した会議の日程が表示されます。





崎戸町

増山 和行

新しい西海市議会に 期待すること

4月23日、見事当選された西海市議の皆様、おめでとうござい
ます。

私たちの古里、西海
市の発展のため、是非こ
の4年間、よろしくお
願いたします。

西海市の課題は、な
んと言っても「過疎化、
人口減少」に尽きると
思っています。我が崎戸
町も例外ではありません
。どうか、次のような
課題の解決策を政策
提言していただき、崎
戸町を、西海市を発展
させていただきますよ
うお願いいたします。



1. ホテル咲き都の 早急な再開を

観光人口の増加は、
その波及効果を考える
と定住人口の増加に寄
与すると考えられます。
ホテル咲き都の休館は、
指定管理者と市当局
との問題のみならず、
地域に与える経済的影
響は計り知れません。
「げんき村」「RV村」
もどうなるのでしょうか。

西海市の貴重な観光資
源を早急に再開してい
ただきますようお願い
します。

2. 公営住宅、教職員 住宅の整備を

公営及び教職員住
宅の老朽化が進んでい
ます。「たまり場」とし
て青少年に悪影響を与
えている場所もあるよ
うです。改修できる所
はキッチンと整備し、そ

でない所は解体・撤去す
るなどの処置をお願い
します。民間に払い下
げる方法もあるかと思
います。

3. 避難港の整備を

これは、天然の良港
浦港に言えること
が、台風等、荒天時に
「大混雑」となります。
係留施設の整備拡大を
お願いいたします。

4. ペーロン大会の 活性化を

このことについてはど
この地域でも漕ぎ手不
足のようなです。帰省者
にアピールするなど広
報活動が大事かと思
います。また、船の格納庫
整備への基金設立や
補助金の拡充をお願い
いたします。

郵便はがき

8572392

郵送される
場合は62円
切手を貼っ
て下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第47号)

裏表紙に
西海市議会クイズが
あるよ！議会だよりを
よく読んで解答してね！



第3回 西海市議会クイズ

ヒント
答えは全て本誌の中にあります。

- (1) 平成29年第2回西海市議会定例会において、常任委員会に付託された議案は全部で何件でしょうか。
 - (2) 西海市のコンジェニエンストアにおける証明書交付サービスが実施されるのは平成何年からの予定でしょうか。
 - (3) 平成32年 ②平成36年 ③平成30年
 - (4) 平成29年第2回西海市議会定例会において、市政一般質問を行った議員は全部で何名でしょうか。
- ① 10人 ② 12人 ③ 15人
- (4) 平成29年第2回西海市議会定例会本会議において総括質疑は何件あったでしょうか。
- ① 4件 ② 6件 ③ 10件

応募方法

下のはがきを切り取って、「答え(番号)、住所、氏名、年齢、議会だよりへの感想」を記入の上、郵便でお送り頂るか、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へご提出ください。

締切

平成29年9月8日(金) 消印有効(7日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で5名の方に、Q.U.Oカード(1000円分)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

「個人情報の取扱いについて」

ご記入頂きました個人情報、賞品発送などの目的以外には利用いたしません。



編集後記

西海市が発足して12年が経ちました。当時の議会では「西海丸」の船出として捉え、安全で快適な運航を目指し、使命感に燃えたものがありました。市長・職員・議会が乗組員であり、市民の皆さんが乗客です。先頃の選挙でクルーの一部に変更がありましたが、西海丸のおかれた環境は発足時より厳しくなっています。

少子・高齢化による地域活力の低下や農・漁業の後継者減少、中小学校の統廃合、市民税・国の補助金減少による財源不足等々、問題山積です。

ドイツの社会学者マックス・ウェーバーは政治家の資質として「情熱責任感 未来への判断力が重要である」と語っています。

今こそ、行政・議会は確かな先見性を持って、責任ある活動を行い、何より市民の皆さんと共に「ふるさと」再生に情熱を傾け、「西海丸」の運航に取り組んでまいります。

田川 正毅



第3回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

ふりがな

氏名

住所

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見